



町長エッセイ

本町の医療の安心度は抜群！

みなさんこんにちは

先日、NHKの大河ドラマ「天地人」で盛り上がっている米沢市の隣町、高畠町の議会で市町村合併の話が聴きたいということで行ってきました。

先の大合併では、全国で3千余の市町村が1千790余へと40%も減りましたが、県内では庄内地方しか合併が進みませんでした。現在も、新合併法の期限内での合併論議が最上や置賜の一部で行われていますが、今からでは合併メリットが本町のように明確にならず、成立するにはかなりの困難があるだろうと感じています。

また、この機会に改めて、本町より2千人ほど人口規模の大きい高畠町との比較もしてみました。一番大きな違いは医療施設の充実度でした。置賜地方には県立の総合病院が無く、庄内町・鶴岡市・酒田市のどの医療施設も利用できる本町は、いざ、といった時の安心感が格段に違っていると感じてまいりました。2年後には酒田に救急医療センターもできる事から、その充実度はさらにアップする事になります。

医療機関の充実は早期発見・早期治療にも関係しますから、その影響もあるのでしょうか、本町の国民健康保険会計における一人当たりの年間医療費が、合併以来毎年県内で低い位置で推移しています。

また、町では、肺炎で亡くなる方が多いことから、今年から65歳以上の方に対して肺炎球菌の予防接種にも補助していますので肺炎予防にぜひ接種をお願いいたします。

海外での研究によると、肺炎での死亡率が接種を受けなかった人と比べて半分以下とのこと！一度の接種で5年は有効です。

庄内町長 原田真樹